

令和7年青森県豪雪対策本部会議

日時：令和7年1月4日（土）

10：00～

場所：北棟2階災害対策本部室

次 第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 青森県豪雪対策本部の設置について（危機管理局）
 - (2) 気象の見通し（青森地方気象台）
 - (3) 被害状況報告（各部局）
- 3 本部長指示事項
- 4 県民への知事メッセージ
- 5 閉会

青森県豪雪対策本部の設置について

○積雪深の状況（令和7年1月3日20時現在） 気象庁観測点

（単位：c m）

- 各指定観測点における積雪深

- 左記以外の地点

地点	積雪深	警戒積雪深
青 森	112 （平年比320%）	100
弘 前	104 （平年比359%）	90
五所川原	100 （平年比370%）	110
野 辺 地	69 （平年比406%）	100
む つ	16 （平年比114%）	80

地点	積雪深
碓ヶ関（平川市）	98（平年比297%）
鱒ヶ沢	51（平年比340%）
脇野沢（むつ市）	46（平年比242%）
今別	46（平年比192%）
深浦	33（平年比330%）
十和田	20（平年比167%）
三戸	15（平年比136%）
八戸	13（平年比433%）

※黄色マーカーは警戒積雪深を超えている指定観測点

その他の観測点：大間（積雪深0）、青森大谷（積雪深188）、酸ヶ湯（積雪深399）

青森県豪雪対策本部の設置について

○豪雪対策本部設置

- 現時点では指定観測点5箇所のうち青森、弘前は既に警戒積雪深を上回っており、その他の観測点も平年の積雪深を上回っている。
- この大雪により、道路状況の悪化に伴う交通障害、航空、鉄道の運休が生じている。
- また、雪による倒木を原因とした停電が発生するなど、市民生活に多大な影響を与えている。

- 県内の一部の地域では、災害レベルとなっており、今後も降雪が続き、様々な雪害が発生する恐れがあることから、県の対応に万全を期すため、豪雪対策本部を設置する。
- 豪雪対策本部は全庁体制とし、市町村や関係機関と緊密な連携と協力のもと、対策を検討し、実施に移すものとする。

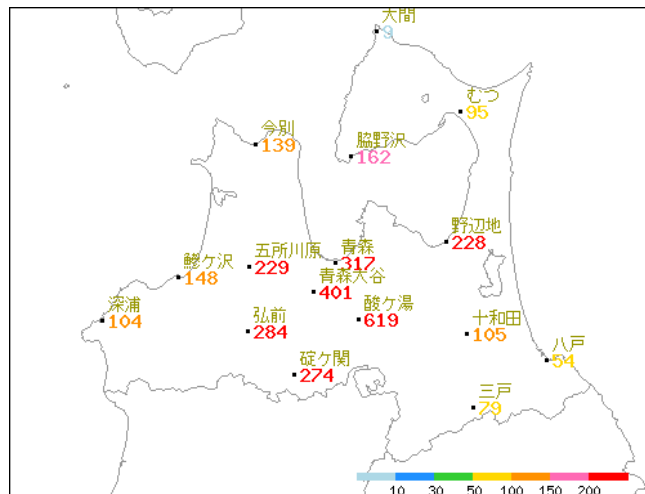
(参考) 市町村の豪雪対策本部等設置状況

市町村	対策本部等名	設置日時
弘前市	弘前市豪雪警戒本部 弘前市豪雪対策本部	12月26日13:00 1月3日9:00
黒石市	黒石市豪雪警戒対策本部	1月2日10:00
五所川原市	豪雪警戒連絡会議	12月27日15:15
平川市	平川市豪雪警戒本部 平川市豪雪対策本部	1月1日15:00 1月3日11:00
鱒ヶ沢町	鱒ヶ沢町豪雪対策本部	12月24日16:30
藤崎町	藤崎町豪雪警戒本部	12月24日9:00
大鰐町	大鰐町豪雪警戒本部 大鰐町豪雪対策本部	1月1日13:30 1月3日14:00
田舎館村	田舎館村豪雪対策本部	1月3日15:00
板柳町	板柳町豪雪警戒本部 板柳町豪雪対策本部	12月27日9:30 1月2日14:30
鶴田町	鶴田町豪雪警戒本部	12月23日11:00
中泊町	中泊町豪雪警戒本部	12月26日12:00

(令和7年1月3日現在)

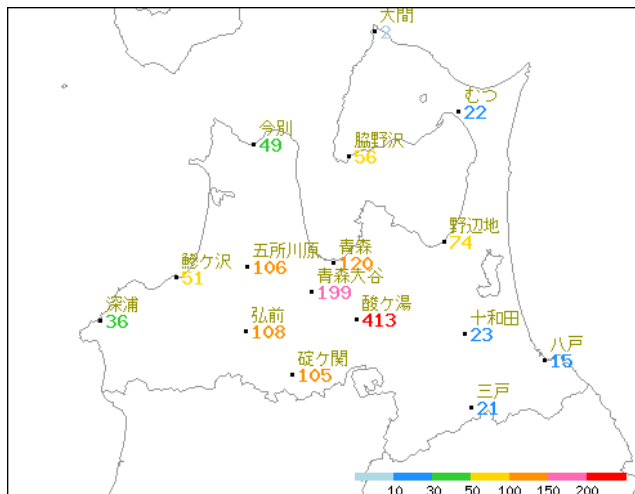
青森県では、12月から1月にかけては冬型の気圧配置が続き、雪の降る日が多かった。冬型の気圧配置の強まりや上空の強い寒気、気圧の谷の影響により大雪となる日もあった。これまでの降雪量と最深積雪は、平年並または平年より多く、かなり多い所もあった。

○ 降雪量分布図（12月1日～1月3日）



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
酸ヶ湯	619	420	147
青森大谷	401	//	//
青森	317	159	199
弘前	284	167	170
碓ヶ関	274	151	181
五所川原	229	137	167
野辺地	228	104	219
脇野沢	162	126	129
鱒ヶ沢	148	96	154
今別	139	116	120
十和田	105	83	127
深浦	104	57	182
むつ	95	77	123
三戸	79	72	110
八戸	54	28	193
大間	9	30	30

○ 最深積雪分布図（12月1日～1月3日）



地点名	実況値	平年値	平年比(%)
酸ヶ湯	413	192	215
青森大谷	199	//	//
青森	120	35	343
弘前	108	29	372
五所川原	106	27	393
碓ヶ関	105	33	318
野辺地	74	17	435
脇野沢	56	19	295
鱒ヶ沢	51	15	340
今別	49	24	204
深浦	36	10	360
十和田	23	12	192
むつ	22	14	157
三戸	21	11	191
八戸	15	3	500
大間	2	3	67

○ 月最深積雪の大きいほうから（12月として）

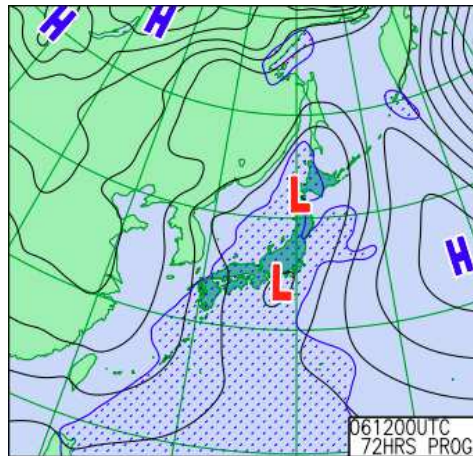
青森 115cm（第4位）、今別 49cm（第8位）、脇野沢 56cm（第5位）、
五所川原 79cm（第3位）、野辺地 65cm（第2位）、鱒ヶ沢 43cm（第6位）、
弘前 84cm（第1位）、酸ヶ湯 357cm（第1位）、碓ヶ関 85cm（第1位）

○ 予想降雪量（4日6時から5日6時までに予想される24時間降雪量は多い所で）

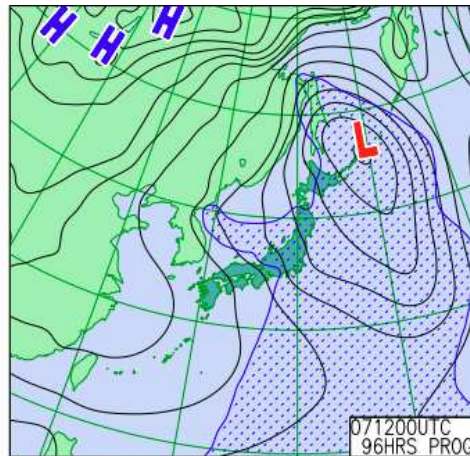
津軽の山沿い：30cm、津軽の平地：20cm、下北の山沿い：15cm、下北の平地：15cm、
三八上北の山沿い：30cm、三八上北の平地：20cm

向こう一週間の天気の見通しは、前半は低気圧や気圧の谷の影響により雨や雪の降る所があるが、後半は冬型の気圧配置や寒気の影響により、雪の降りやすい日が続く見込み。

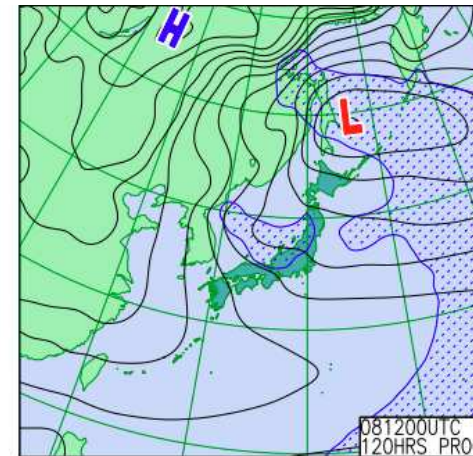
○ 週間天気予想図（1月6日～11日）



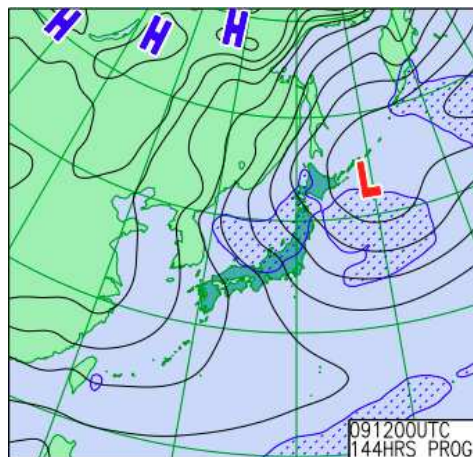
1月6日21時の予想天気図



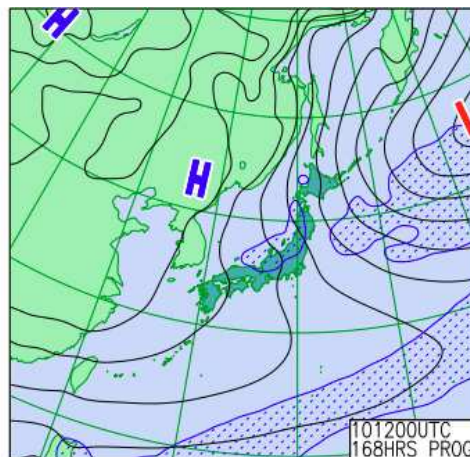
1月7日21時の予想天気図



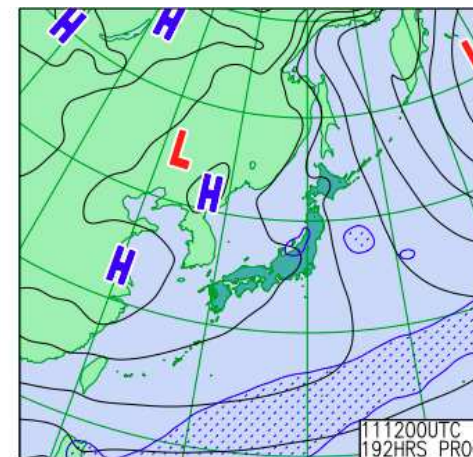
1月8日21時の予想天気図



1月9日21時の予想天気図

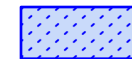


1月10日21時の予想天気図



1月11日21時の予想天気図

凡例



24時間降水量：
5mm以上の範囲

H：高気圧

L：低気圧

最新の情報をお使いください。

年末年始の大雪に係る 被害状況等

1月4日 10:00時点

令和7年1月4日

1 総合政策部

ライフラインの状況（通信）

1) NTTドコモ

平川市葛川にて通信障害発生中
→4日の復旧に向け準備中

2) KDDI

青森市荒川、浪岡、平川市小国山下、深浦町にて
通信障害発生中
→現在も通信障害あり

2 交通・地域社会部

1) 鉄道

<JR>

- ・新幹線 東北新幹線 平常運転
北海道新幹線 平常運転
- ・在来線 奥羽本線 一部運休：大館駅～津軽新城駅間
一部遅延：津軽新城駅～青森駅間
津軽線 平常運転
五能線 一部運休：深浦駅～弘前駅間
大湊線 全線運休
八戸線 平常運転

<青い森鉄道>

一部運休：青森駅～三沢駅間

※ 三沢駅～八戸駅間で本数を減らして運行

<津軽鉄道(株)>

平常運転

<弘南鉄道(株)>

全線運休（弘南線、大鰐線）

2) 航路

<むつ湾フェリー (株) (蟹田~脇野沢) > 冬季休航

<津軽海峡フェリー (株) >

- ・青森~函館 平常運航
- ・青森~室蘭 平常運航
- ・大間~函館 平常運航

<北日本海運 (青函フェリー) >

平常運航

<川崎近海汽船(株)八戸支社 (八戸~苫小牧) > 平常運航

3) バス

- ・ 路線バス
 - 下北交通 (株) 平常運行
 - J Rバス東北 (株) 青森支店 平常運行
 - 青森市企業局交通部 平常運行
 - 弘南バス (株) 一部迂回運行：青森空港線のうち弘前駅前及び浪岡の停留所
 - 八戸市交通部 平常運行
 - 岩手県北自動車 (株) 平常運行
 - 十和田観光電鉄 (株) 平常運行
 - (有)脇野沢交通 平常運行
- ・ 高速バス
 - 弘南バス(株) 一部迂回運行：弘前～盛岡線 (ヨードル号)のうち弘前駅前の停留所
 - J Rバス東北(株)青森支店 平常運行
 - 十和田観光電鉄(株) 平常運行

3 環境エネルギー部

別紙のとおり

令和6年度年末年始の大雪に係る対応について

令和7年1月4日

09時00分現在

環境エネルギー部

(エネルギー開発振興課)

1 これまでの被害状況

【停電状況】

延べ約7,100戸（復旧済み7,050戸、復旧対応中50戸）

<復旧済：12/28～1/3>

- ・12/28 被害なし
- ・12/29 被害なし
- ・12/30 約320戸（青森市、つがる市）
- ・12/31 約5,200戸（弘前市、平川市、田子町、三戸町）
- ・1/1 約180戸（青森市、弘前市、黒石市、平川市、大鰐町）
- ・1/2 約350戸（青森市、五所川原市、黒石市、平川市）
- ・1/3 約1,000戸（青森市、弘前市、黒石市、平川市、むつ市、鱒ヶ沢町）

<復旧対応中：1/4>

約50戸

市町村	停電戸数	地域	復旧の見通し	停電理由
青森市	約10戸	大字鶴ヶ坂	1月4日 13:00頃	樹木接触・倒木の影響 (氷雪)
		浪岡大字長沼	故障箇所探査中	調査中
平川市	約20戸	唐竹	故障箇所探査中	調査中
		碓ヶ関久吉	1月4日 17:00頃	樹木接触・倒木の影響 (氷雪)
大鰐町	約10戸	大字長峰	故障箇所探査中	調査中
		大字駒木	故障箇所探査中	調査中
野辺地町	10戸未満	字寺ノ沢	1月4日 12:00頃	樹木接触・倒木の影響 (氷雪)

4 健康医療福祉部

別紙のとおり

令和7年1月2日の大雪警報に係る各部の対応について

令和7年1月4日
8時30分現在
(健康医療福祉部)

1 現在の被害状況及び対応状況

(1) 人的被害

○弘前市

- ・軽傷…転倒 3名
- ・重傷…転落 2名
- ・不明…転落 5名

○七戸町

- ・不明（住所・性別・重軽傷等不明）…1名
→令和7年1月3日の朝、雪下ろし中に屋根から転落
十和田中央病院へ救急搬送

(2) 住家被害

○十和田市

- ・一部損壊…1件（家屋の屋根が1/2潰れる）

(3) 非住家被害

- ・現在報告なし

2 今後の展開予測及び対策

引き続き情報収集を行う。

3 職員安否状況（震度5強以上の地震が発生した場合など必要に応じて記載）

5 観光交流推進部

別紙のとおり

令和6年1月4日
観光交流推進部

航空路線状況について

○青森空港

12月28日 欠航2便 150名

12月31日 欠航2便 150名

1月2日 欠航15便 2080名

12月29日、30日、1月1日欠航なし

1月3日～ 一部遅れはあるものの航行中

○三沢空港

1月2日 2便欠航 210名

1月3日～ 一部遅れはあるものの航行中

6 農林水産部

被害状況

- ・ビニールハウス破損 1件（平川市、調査中）
- ・リンゴの枝折れ被害 1件（平川市、調査中）

7 県土整備部

道路・河川等の状況
別紙のとおり

(様式 1)

令和 6 年 1 2 月 2 8 日からの大雪への対応について (県土整備部)

令和 7 年 1 月 4 日 9 時 00 分 現在

部 局 名 (担当課)	これまでとった措置など	今 後 の 対 応
道路課	1月3日 全面通行規制 ①倒木 国道 2 8 2 号 平川市碓ヶ関 (秋田県境) から L=7.0km 平川市碓ヶ関 (国道7号)	1月3日14:00より全面通行規制を開始、15:50規制解除。
	1月2日 停電 青森空港有料道路料金所	1月2日10:57 周辺一帯とともに停電。(大雪による送電線への倒木) 同日16:00復旧済み。
	1月2日 停電 青森空港ビル	1月2日10:57 周辺一帯とともに停電。(大雪による送電線への倒木) 同日16:00復旧済み。
	12月29日、30日、1月2日、3日 青森空港有料駐車場 満車 雪寄せによる駐車帯の減少あり。 (冬期想定1,558台 → 確保済1,300台) ・場内雪寄せによる駐車帯確保 ・公共交通機関の利用を呼びかけ 県 SNS マスコミ各社	1月4日以降も、同様に対応する。
港湾空港課		

(対応策) ※検討中のものも含む

1. 県土整備部内に「道路雪害対策本部」を設置し「警戒体制」に移行。建設業協会と締結している「大規模災害時における応急対策業務に関する協定」を活用し、資機材（人員、ダンプトラック等を含む）の確保に取り組む。
2. 除雪業者 J V が保有する資機材・人員等を除排雪に振り向け、県管理道路除排雪の徹底を図るとともに、事前・事後パトロールを徹底。
3. 幹線市道等の除排雪支援について、市担当者と協議し支援メニューを整理
(例) 予算、人員、資機材、雪捨て場問題など
4. 「排雪予定マップ（今冬から稼働中）」を活用した継続広報のほか、
 - ・ 道路課 SNS を活用した道路ユーザーへの情報提供
 - ・ テレビ、ラジオを活用した情報コーナーの開設
 - ・ 県ホームページ（トップ）に排雪予定マップの掲載など
5. 国（東北地方整備局）に排雪計画の促進を要請
6. 県道路課、各地域整備部、市町村担当窓口とのホットライン開設。
→情報の一元化

以上

8 危機管理部

雪に起因する119番受理状況

消防本部	青森	弘前	八戸	五所川原	十和田	三沢市	つがる市	下北	北部上北	中部上北	鱒ヶ沢	合計
件数	43	26	0	1	1	0	6	0	2	3	0	82

主な要因

- ・雪道での転倒による怪我
- ・屋根からの落下
- ・側溝からの溢水
- ・倒木

9 警察部

別紙のとおり

大雪に係る対応について

令和7年1月3日
17時00分現在
警察部

1 被害状況及び対応状況

(1) 青森署（倒木）

市道青森市高田から主要地方道青森浪岡線の通行止め（解除済み）に伴い、警察官が交通規制等を実施

・規制日時：1/2 12:00～15:00

(2) 野辺地署（事故）

県道野辺地町白岩向から観音林脇間の通行止め（解除済み）に伴い、警察官が事故処理及び交通誘導等を実施

・規制日時：1/3 7:30～9:20

(3) 鱒ヶ沢署（事故）

津軽自動車道鱒ヶ沢道路北浮田入口から南浮田 IC の通行止め（解除済み）に伴い、警察官が事故処理及び交通誘導等を実施

・規制日時：12/30 14:27～15:15

(4) 110 番通報件数（大雪警報 1/2～1/3）

32 件（ほとんどが車両のスタック事案、倒木等）

2 今後の展開予測及び対策

引き続き被害情報の収集に努める。

令和7年1月4日

豪雪対策本部 本部長指示事項

- 県内では、年末からの断続的な降雪によって、記録的な大雪となり、県民生活に大きな影響が出ています。
- このため、全庁を挙げて県民の命と暮らしを守るため、本日、豪雪対策本部とすべての地方支部を設置するとともに、全県的な除雪体制の整備を行ったところです。
- そこで、私からの指示事項です。
- 国道・県道の除排雪を徹底してください。(特に排雪と事後のパトロールの強化)
- 国道・県道除排雪の状況について、丁寧な広報を実施してください。また、受付窓口を紹介してください。
- 幹線市道等についての除排雪について、県及び他市町村が連携している業者からの応援を実施してください。
- 市町村に対して、停電が発生した地域について積極的に避難所を開設するなど、適切な対応を呼びかけてください。
- また、令和4年1月から3月の豪雪災害では農林水産業施設に約3億3千万円の被害が発生したこと等を踏まえ、ハウスなどの農業施設等について、被害状況を把握し、必要な対策を行ってください。
- 今後、降雪・積雪が最も多い時期を迎えますので、除排雪作業や雪下ろし中の事故防止について、広報活動や関係機関との連携

により、周知・啓発に努めてください。

- 県及び市町村の除排雪予算の確保に向けて、国へ早期に要望するよう調整してください。
- 最後に、今回の豪雪は、災害レベルの対応が必要という認識に立って、全部局・全県民局に関連し、県民生活に生じる影響や被害の状況の把握に努め、適切に対応してください。また、その際は、市町村や関係機関と緊密な連携・協力のもと、万全な対応に努めていただくよう指示します。

令和7年1月4日

県民への知事メッセージ

- 年末年始をはじめこれまで、毎日の雪かき、豪雪による交通障害などへの対応、本当にありがとうございます。
- また、停電が多数発生しており、暖房が使えないなど、大変な思いをした方もいらっしゃると思います。心からお見舞い申し上げます。
- 県内の一部地域（青森市、弘前市、黒石市、平川市など）においては、非常事態で都市機能が麻痺する生活災害となっています。
- 12月と1月上旬では、地域によっては、観測史上最大級の積雪深を記録する、最大規模の豪雪災害となっています。
- 各市町村の機械力・人員の限界を超えたレベルとなっています。
- 私自身も青森市内に在住ですが、自宅周辺の生活道路の除排雪がほとんどなく、年末休暇前は朝と晩、休みに入ってから毎日何度も車道まで雪かきをしている状況です。
- それでも降り積もる雪に関しては、うんざりしていますので、皆様の感情を考えると本当に県民感情、住民感情としてやり場のない怒りをお抱えのことと存じます。
- また、生活もしておりますので、妻の運転で市内各地に買い物や用事を済ませに行く際には、普段2車線のバス通が高い雪の壁に囲まれ1車線になり、すれ違いもままならず、また、タイヤの跡でボコボコになりハンドルが取られて滑り、立ち往生している車にも度々遭遇して、歩道が歩けず車道を歩行してい

る人もいて、本当に恐怖を感じながら通行している状況です。

- そして路面の状態も特に生活道路は、車が壊れるほど凸凹な場所も多く、運転そのもの移動そのものにストレスがかかる状況で、通常5分で到着する場所が、30分以上かかるような場合もあります。
- 不安、恐怖、怒りという負の感情の連鎖が覆っていることは、私も一県民、住民として十分に理解できます。
- その一方で、これを乗り越えるためには、この豪雪が災害であるという認識のもとに、史上稀に見る豪雪であるという理解と災害時であるからこそ自身の身をまず守り、共助の精神でお互いを支えるということにも御理解いただきたいと存じます。
- 県としては、豪雪災害の認識のもと、県管理の国道と県道については、パトロールを強化し除排雪をこまめに行うなど、すでに24時間体制で全庁対応しております。
- さらに、県としては取り組みを進めて、
- まず第一に、国道・県道は昼間の除雪も含めて、これまで以上に徹底して除排雪を行います。国道県道に出た時にはホッとしてもらえるように対応したい。自分も青森市以外の現場については順次、確認をしていきます。
- また、市町村管理の生活道路は、除雪、排雪ともに追いついておらず、危機的な状況だと認識しています。

- 県としては豪雪への対応の検討を進めてきましたが、今後は、県として予算を確保し、県主導のもとに、機械と人員に余力のある各市町村が連携する業者を融通し、この災害に県一体となって立ち向かう体制を構築します。

- 屋根雪による家屋の崩壊、一部ではすでに起こっている道路通行障害、高齢者世帯等の家屋での孤立、停電など命の関わる危機がすでに起こり始めています。市町村には積極的に避難所の開設等を促し、災害対応として対処してもらえるように要請していきます。

- まだ1月の初めということで、これから雪のシーズンはこれからが本番となります。

- 県民の皆様には、ご自身の命と安全の確保を最優先としていただきたいと存じます。

- 私たちとしては、各市町村と連携して、最優先事項として、できる限りの対応をしていきます。

- ただ、災害ですからどうしても、どうしても追いつかない部分もありますので、そのことについてはご理解をお願いします。

- 自らの身を守り、お互いを尊重し合いながら、毎晩、年末年始お正月、そしてこれからも毎日、除雪、排雪を行っている人たちもいることに思いを馳せていただき、結束してこの災害を乗り越えていきましょう。

- 私からは以上です。